

令和8年度 全国学力・学習状況調査

令和8年4月に全国の小学6年生を対象に実施された、全国学力・学習状況調査の本校の調査結果概要をお知らせします。

【調査結果概要】

「平均正答率 (%)」

	斎藤分小学校	全国
国語	68.0	60.9
算数	63.0	56.4

【国語】

学習指導要領の領域等	平均正答率 (%)	
	斎藤分小学校	全国 (公立)
話すこと・聞くこと	75.3	65.8
読むこと	80.6	65.9
書くこと	45.2	45.7
言葉の特徴や使い方に 関する事項	75.0	66.8
情報の扱い方に 関する事項	54.8	52.3

【算数】

学習指導要領の領域等	平均正答率 (%)	
	斎藤分小学校	全国 (公立)
数と計算	71.4	61.1
図形	58.1	55.3
測定	90.3	78.1
変化と関係	48.4	41.1
データの活用	57.3	48.6

児童質問紙の回答より (全国の回答と比べて)

- 「毎日決まった時刻に起床・就寝する」など、基本的な生活習慣が身に付いている児童が多い。
- 学校に行くのが楽しいと感じている児童が多い。
- 将来の夢や目標を持っている児童が多い。
- 自己肯定感や「いじめはどんなことがあってもいけないことだ」という意識が低い傾向にある。

＜考察と今後の手立て＞

学習に対してまじめに取り組んでいます。さらに理解を深め、自己調整学習を高めるために、目標（めあて・ねらい）を明確にして学習を進め、本校が重点的に取り組んでいる「主体的・対話的で深い学びに取り組む子どもの育成～メタ認知に働きかける授業づくり～」をより一層推進します。

国語では、書くことに課題が見られるので、どのように書けば自分の思いや考えが相手に伝わるかを考える学習過程を大切にしながら、言葉遣いや順序を自ら選んで書く活動を充実させるようにします。

算数では、様々な見方・考え方で回答を見つける姿勢をこれまで以上に丁寧に育むようにします。また、授業で得た知識・技能をもとに思考・判断・表現力等を育み、自ら学ぶ楽しさが実感できるように、一人ひとりに寄り添い、個々の学習がより一層充実する授業をするようにしていきます。

また、自己肯定感やいじめに関する意識を高めるために、道徳・特別活動を中心にあらゆる教育活動を通して、一人ひとりに達成感や有用感、そして他者を大切に思う心を育成するように努めます。

学習状況調査の結果より

○全国平均に比べて、国語では7.1%、算数では、6.6%上回る結果となった。

○国語では、全体的に全国平均以上の学力が身に付いていると言える。特に「読むこと」では全国平均を約15%上回る結果となった。特に、文章を読んで目的に応じた必要な情報を見つけたり、理解した内容に基づいて自分の考えをまとめたりする読解力が高い傾向が見られた。また、文章の種類とその特徴について理解する力が付いていると言える。しかし、「書くこと」の「自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する」などでは、全国平均を下回る正答率になっており、課題が見られた。

○算数では、全体的に全国平均以上の学力が身に付いていると言える。特に「測定」の領域に対する理解度が高く、全国平均を約12%上回る結果となった。表から必要な数値を読み取り、数量の関係に着目しながら、条件に合う答えを求める力が十分付いている。しかし、「図形」の領域では、体積の意味や性質についての理解にやや課題があることが分かった。